

# 算 数



## (4) 算 数

観 点	着 眼 点
<p>1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫</p>	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象を数理的に捉え算数の問題を見いだす学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <p>(2) 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を通して合理的、論理的に考えを進めるなど、互いの知的なコミュニケーションを図るための工夫</p> <p>(3) 数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用するための工夫</p> <p>・児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を実施する工夫</p> <p>(4) 問題を解決するために既習の何を用いてどのように表したり処理したりする必要があるのかについて構想を立てられるようにしたり、どのような数学的な見方・考え方を働かせるとよりよく問題解決できたのかを振り返ったりするための工夫</p> <p>(5) 具体物を操作したり、日常の事象を観察したり、児童にとって身近な算数の問題を解決したりするなどの具体的な体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感したりするための工夫</p> <p>(6) 動機付けや方向付け、学習内容・活動に応じた振り返りなど、児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫</p> <p>(7) 他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫</p>
<p>2 使用上の便宜</p>	<p>(1) 内容の配列、分量についての特徴</p> <p>(2) 判型、分冊等、造本上の特徴</p> <p>(3) 目次、索引、注、巻末資料等の工夫</p> <p>(4) 特別な配慮を必要とする児童等への配慮</p>

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	新しい算数	2 東書

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- 関心・意欲を高めるよう工夫されている。
  - 〔例〕 児童の日常生活を中心に素材を集めた『単元プロローグ』が設定されている。また2年上P8では、昼休みの過ごし方をデータとして、児童の興味が喚起するよう工夫されている。
  - 〔例〕 第2学年以上に『いかしてみよう』が取り上げられている。5年下P80では、割合の学習の仕上げとしてパンの特売日の話題を取り上げ、日常の事象を数理的に捉える良さがわかるよう工夫されている。
- 数学的な見方・考え方を働かせた学びを実現する手だてがとられている。
  - 〔例〕 第2学年以上では、虫眼鏡マークを付けることで、数学的な見方・考え方を可視化する手だてがとられている。
- 図や数直線などを活用して考えたり説明したりする力が育つよう工夫されている。
  - 〔例〕 2年下P74～81「たし算とひき算」、3年上P58～59「重なりに注目して」、4年下P120～121「共通部分に注目して」、5年上P148～149「数直線の図を使って」、6年P270～271「数直線の図を使って考えよう」等、問題を図や数直線に表す手順を具体的に示して、児童が段階的に習熟し、自ら表現できる力が身に付くよう配慮されている。
- 図や式をもとに互いの考えを伝え合うことにより論理的思考が育まれるよう工夫されている。
  - 〔例〕 1年②P118～119「たし算とひき算」で、ヒントをもとにして式を見て考えを話したり、気づいたことを言ったりできるよう工夫されている。4年上P115「倍の見方」、5年下P79「割合」では、提示された2つの式から考え方を説明する場面を設けて必要な言語表現を「まとめ」として示して、考えを話すときの表現方法が身につくよう工夫されている。
- プログラミングを体験できるデジタルコンテンツが用意されている。
  - 〔例〕 5年下P134「正多角形をかく手順を考えよう」、6年P242～243「数の並べかえ方を考えよう」等、5・6年生に単元の学習と関連させた特設ページ「プログラミングを体験しよう！」を設定して、コンピュータを活用したプログラミングに取り組めるよう配慮されている。
- コンピュータを活用して効果的・効率的に学習指導ができるよう工夫されている。
  - 〔例〕 2年上P9、4年上P85、6年P180等、数学的活動の支援、学習効果の向上、基礎・基本の習熟定着とつまずきへの対応、統計学習の支援をテーマとして教科書の内容と密接に関連したデジタルコンテンツが用意されていて、表紙裏ページに記載されているURLや二次元コードからコンテンツにアクセスして活用できるよう配慮されている。
- 既習内容を振り返り学習できる見通しが立てられるよう工夫されている。
  - 〔例〕 1年②P13、2年上P78、3年上P47、4年上P55、5年上P39、6年P89等単元と単元の間に復習問題のページ「おぼえているかな？」を設けて単元や前学年までの既習内容を振り返り、概念や性質の理解、技能の維持・強化が図られるよう工夫されている。
- 数学的な見方・考え方を働かせる良さに気づき、振り返りができるよう工夫されている。
  - 〔例〕 2年下P43～47、4年上P63～67、5年下P95～99等、「今日の深い学び」として学習を振り返って分かったことや役立った考え方を振り返るよう工夫されている。
  - 〔例〕 単元末に「つないでいこう算数の目」を新設し、単元で働かせてきた数学的な見方・考え方を示して統合的・発展的に考察できるよう工夫されている。

- 数学的活動を豊富に取り入れて、数学の良さに気づくことができるよう工夫されている。  
〔例〕 4年上P134～135「食べ残しをへらそう」、5年下P126～127「国土をくわしく調べよう」、6年P90～91「陸上競技の記録について考えよう」等、第4学年以上に「算数で読みとこう」を設けて、実際のデータを数学的に読解・解釈したり考察し判断したりするなどの活動が取り上げられている。また、これらの学習を通して日常の事象を数理的に捉えることの面白さや有用性、重要性がわかるよう工夫されている。
- 学習したことを生活や学習に活用する態度が育つよう配慮されている。  
〔例〕 1年②P26「なにをくらべているのかな?」、3年上P84「どんな数を学習したかな?」、5年下P28「比べられるかな?」等、単元の導入「単元プロローグ」のページで、身の回りの事象を数理的に捉えて議論する活動を豊富に取り入れるなど、学習内容と生活の関連を強調し、日常生活に学習を生かそうとする態度が身につくよう配慮されている。  
〔例〕 2年上P114、4年上P32、6年P116等、第2学年以上の単元末に学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」を設定して、学ぶことの楽しさや意義を実感して進んで生活に生かそうとする態度が身につくよう配慮されている。
- 児童の興味・関心を生かして、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。  
〔例〕 2年下P28、4年下P88、5年下P109等「ますりん通信」を設けて、算数の学習に関連する話題や児童が気づいたり発見したりした見方・考え方を取り上げて、児童の意識が高まるよう工夫されている。
- 既習内容を適宜振り返る機会を設定している。  
〔例〕 第2学年以上で、目次の単元の左右にそれぞれ「前の学習」「後の学習」を設けて学習の継続性を持たせ、どの既習内容が今の学習の元になっているのかを考えさせることで児童の自発的な学習を促す工夫がされている。
- 道徳教育に関連した指導ができるよう配慮されている。  
〔例〕 3年上P66、P130、下P105～107、4年上P8～9、P13、P20～26、5年上P122～123、下P77、6年P90～91、P131～132、P232～237等、伝統文化に触れたり、郷土愛を育んだり、国際社会について考えたりすることができるよう工夫されている。  
〔例〕 第2学年以上の上巻巻頭「学びのとびら」で他の児童との学び方を例示して、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮されている。
- 他教科等との関連を図った学習活動が行えるよう配慮されている。  
〔例〕 1年①P3～15、P36～37、2年上P95、3年下P90～102、4年上P20～33、5年P34～35、6年P234等では生活科、体育（保健）、理科、外国語などの他教科との関連を考慮した教科横断的な教材が取り上げられている。  
〔例〕 5年下P84～85、P92、6年P164～165、P193、P196～197等ではキャリア教育と関連づけた教材が取り上げられている。

## 2 使用上の便宜

- 環境に配慮した再生紙や化学物質を押さえた植物油インキを使用するなど、環境やシックスクールなどに配慮されている。
- 第1学年～第5学年については、重量による児童の身体的な負担を考慮して分冊構成とし、第6学年については中学校に向けて合冊構成されている。
- 児童が視認しやすいよう、ユニバーサルデザインの字体が使用されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	たのしい算数	4 大日本

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- 日常の事象を数理的に捉え、算数科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。
  - 〔例〕 2年～6年巻頭の「算数まなびナビ」で算数の学び方を説明し、単元ごとに「問題をつかもう」「自分で考えよう」「学び合おう」「ふりかえろう」「まとめよう 使ってみよう」と活動の目的を示すことで、児童が主体的・対話的で深い学びへ向かえるよう工夫されている。
- 文章量の多い問題を取り入れ、読解力の育成に配慮されている。
  - 〔例〕 2年P127、4年P83、6年P23等、単元末の「たしかめ問題」で思考力、判断力、表現力を問う問題が適宜取り入れられている。
- 図、表、グラフ等具体物を用いて説明を行えるよう配慮されている。
  - 〔例〕 2年P166～167、4年P71、6年P80等、「読み取る力をのばそう」を設け、文章、図、グラフを読み取る力や考えを表現する力を育成するとともに、課題とされている、読解力、活用力、表現力が育成できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 第4学年以上の巻末に数直線図の書き方を連載することで、目盛りの読み取りや図の活用など、児童が段階的に図、表、グラフ等を活用できる力を身に付けるよう工夫されている。
- 日常の事象を算数の問題として捉え、解決方法を話し合えるよう工夫されている。
  - 〔例〕 2年P195～197、3年P131～133、4年P123～124、5年P19～23等では「じっくり深く学び合おう」を示し、右ページに問題を配置し、次ページに図や表等を使った多様な考え方の場面を配置することで、解決方法を比較しながら話し合い活動に取り組みやすいよう配慮されている。
- プログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付けられるよう工夫されている。
  - 〔例〕 6年P194～195「グラフをかこう」、5年P250～251「正多角形をかこう」、4年P256～257「アルゴリズム」、3年P236～237「数あてゲームをしよう」2年P212「すごろくゲーム」、1年P168「ゴールをめざそう」等、「プログラミングにちょうせん」の特設ページを全学年に設けて、プログラミング的思考を伸ばすとともに、算数の理解が深まるよう配慮されている。
- プログラミングの活動が円滑に行えるよう工夫されている。
  - 〔例〕 6年P194、5年P250、学習専用のウェブサイトや使い方の動画、サンプルファイル等のデジタルコンテンツを設け、活動が円滑に進められるよう配慮されている。
- 既習内容を生かし、見通しが立てられるよう工夫されている。
  - 〔例〕 第2学年以上で、すべての時間に学習のめあてを「☆めあて」というマークで示し、本時の内容を明確にすることで学習の見通しをもたせる工夫がされている。
- 数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決ができたかを振り返ることができるよう工夫されている。
  - 〔例〕 3年P82、4年P50、5年P18等、「☆発見！考え方」や「ひらめきアイテム」で数学的な見方・考え方に焦点をあて、児童の思考力が育成できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 3年P19、4年P99、6年P62等、ノートのまとめ方を「ふりかえろう」として示し、学んだことや考えたことを書き留めて自発的な学習につながるよう工夫されている。

- 数量や図形について実感を伴った理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感したりできるよう工夫されている。
  - 〔例〕 1年P96、3年P161、5年P128等、「算数たまたまばこ」を設け、日常の事象を算数の問題に設定し、具体的な操作や活動を伴いながら、算数で培った知識や技能を活用して問題解決できるよう工夫されている。
- 量感、質感を体感しながら考えが表現できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 3年P116「大きな数」では、不等号の感覚を体感的に捉えさせるよう視覚化したり、2年P56、4年P240、5年P26等、実際の測定の活動や作業と、グラフや表とを関連させたりして話し合い活動が活発になるよう工夫されている。
- 自主的・自発的な学習を促すよう工夫されている。
  - 〔例〕 1年P39、P145、P154、2年P94、P157、3年P68、P198等、「おうちで算数」を設け、家庭生活の中でできる活動を示し、算数で学習したことを実生活の場で生かすよう配慮されている。
  - 〔例〕 4年P251、5年P95、6年P220等、「ふくろう先生のなるほど算数教室」の特設ページで、算数・数学を生かして仕事をしている方のインタビューを取り上げ、算数が実社会で生かされている事例から数理的な処理のよさに気づけるよう工夫されている。
  - 〔例〕 第2学年以上で、全単元にわたり「プラス・ワン（ページ）」とリンクマークを付けて、巻末に設定した補充問題へ導くよう工夫されている。
  - 〔例〕 単元末の「たしかめ問題」にも、個に応じて取り組む問題を選択できるようにするとともに、「しっかりチェック」「チャレンジ」を設けて習熟度に合わせて取り扱うよう工夫されている。
- ノートの書き方事例を示し、考えがまとめやすいよう工夫されている。
  - 〔例〕 1年P112「ノートにまとめよう」5年P126「ふりかえろう」等、各学年に沿ったノートの活用例を示し、表現しやすいよう配慮されている。
- 児童が、各教科の活動、題材や統計資料に算数の知識が生きていることを実感し、各教科の活動に算数で学んだことが生かせるよう配慮されている。
  - 〔例〕 1年P30「たいいく」、2年P88「生活科」、3年P45「ほけん」、4年P72「外国語活動」、5年P122「音楽」、6年P186「理科」等、各教科との関連の中で算数の知識や技能を活用していることを実感できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 理科、社会などとの関連において、第3学年以降では棒グラフや折れ線グラフなどの指導時期を早めにして、算数で学んだことを生かせるよう配慮されている。
  - 〔例〕 5年P178、6年P186等で他の教科とのリンクマークが書かれている。
- 現代的な課題との関連に配慮されている。
  - 〔例〕 3年P123「なるほど算数教室」では外国のおつりのわたし方を例示して国際理解に、また6年P218では「飲み水の備えについて考えよう」では、1日で使う水の量を扱い防災教育につながるよう配慮されている。

## 2 使用上の便宜

- 各学年1冊の合本にすることで、学年のはじめに学年全体の学習内容を見通すことができるとともに、既習内容の振り返りがしやすくなるよう配慮されている。
- 全面的なユニバーサルデザインの字体の使用、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色などに配慮されている。
- 製本は各ページごとを接着剤で固める「アジロ綴じ」とし、針などの使用がないため児童にとって安全で、奥までよく開くことができるよう工夫されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	みんなと学ぶ 小学校算数	1 1 学図

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- 児童が問題を見だし、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。  
〔例〕 3年上P20「かけ算のきまり」、5年上P68「計算の仕方やきまり」等、紙面の左側に「知りたいな」「調べたいな」「考えたいな」などのガイドを示し、児童の主体性を促すことができるよう工夫されている。
- 学習した内容を整理し、深い学びへと進めることができるよう工夫されている。  
〔例〕 2年下P88～89「長さ」、4年上P146～147「表のまとめ方」、6年P78～79「小数や分数を使った計算」等、これまでに学習した内容を「ふりかえろう つなげよう」として領域ごとにまとめて統合的に捉えるとともに、そこから生まれる新たな疑問を次への学習のきっかけとして位置づけられるよう配慮されている。
- 絵や図、式を用いて考えたり、文章や話し合いによって説明したりする場など、さまざまな表現力が育つよう配慮されている。  
〔例〕 1年上P37「あわせていくつ ふえるといくつ」、3年上P69「3けたの筆算の仕方」、4年上P122～123「折れ線グラフ」、5年下P66～67「面積の求め方」等、課題を絵や図、式で表して考えることを重視し、表現力が継続的に育成されるよう配慮されている。また、解答に記述を求める場を設けて、表現力が鍛えられるよう配慮されている。
- 話し合い活動をもとに、他者への伝達に必要なことがらを実感できるよう工夫されている。  
〔例〕 3年上P17「ノート名人になろう」、4年上P90「四角形の性質」、5年上P43「同じ大きさにならして」、6年P17「整理の仕方」、6年P64「分数どうしのわり算の意味や仕方」等、他者の考えを読み取ったり、それを適用して自分の言葉でまとめたりすることなどが意識できるよう、また他者に伝えるための言葉の使い方を論理的な説明とともに提示することで、自然に身に付くよう配慮されている。
- コンピュータを使用することの利便性および使用方法について扱われている。  
〔例〕 6年P144「写真の拡大・縮小」では、タブレット端末を使用して撮影した写真を拡大したり縮小したりする活動を通して、コンピュータを使用する利便性が伝えられている。また、プログラミング学習のページ等に載せられた二次元コードから動画やソフトが参照でき、学習活動の手助けになるよう配慮されている。
- プログラミング的思考を養う課題を設け、論理的思考を育むよう工夫されている。  
〔例〕 全学年の学年末配当として、「ロボくんに〇〇をさせよう」という形式で統一した問題解決学習を展開し、発達の段階に応じて直感的な動作で徐々に論理的思考が身に付き、筋道を立てて考えることの大切さに気づくことができるよう工夫されている。
- 既習事項を活用する場面を通して、数学的な考え方が育成されるよう配慮されている。  
〔例〕 第2学年以上の各学年上巻巻頭に「算数で見つきたい考え方モンスター」、「前学年で見つけた考え方」のページを示して、見方・考え方を意識して使えるようにしたり、前学年での考え方を振り返ったりできるよう配慮されている。
- 問題を解決するための見方・考え方を示唆し、それらを振り返りながら学習を進められるよう配慮されている。  
〔例〕 3年上P63「3けたの筆算の仕方」、3年下P79「筆算の仕方」、4年上P11「数の表し方やしくみ」、5年上P75「計算の仕方やきまり」6年P149「同じに見える形の性質やかき方」など、脚注に「モンスター」を付けて見方・考え方を明確にし、既習事項を活用したり方法の見通しをもったりする態度、問題解決までを振り返る態度が育成されるよう配慮されている。



- 実際に体験したり活動したりすることを重視し、それらを通して考察できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 1 年下P35「20 より大きい数」、2 年上P60「数の表し方やしくみ」など、ブロック等を用いて量感覚が具体的にイメージできるよう、また 3 年下P55「三角形の性質やかき方」、4 年上P85「四角形の性質」等、実際に図形を作り、観察する活動を通して、その性質を認識できるよう工夫されている。
- 生活場面から課題を提示し、数理的処理のよさや意義が実感できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 1 年下P32～33「かつどう!!」では、教室の 4 時間目と昼休みの様子を対比する中で数理的に処理する事柄を見つけ、それらを協働的に解決していくことで、数学のよさに気づいたり、数学を活用することへの意義を感じたりできるよう工夫されている。また、2 年上P14～15「整理の仕方や表し方」では、抜けた乳歯の本数という、この学年の児童にとって身近な生活場面からの素材を取り上げ、数理的な処理のよさを感じられるよう工夫されている。
- 算数に対する意欲・関心が喚起されるよう工夫されている。
  - 〔例〕 2 年上P46「のこりは何こ?」、3 年下P54「同じなかまはどれ?」等、単元のはじめを「?を発見」と題した問題発見のページから始め、算数の問題として考察していくことで、数学的活動を自然に行うことができるよう工夫されている。また、3～5 年上表紙裏～P1 には「みんなの町の算数」を配し、具体物が数学的活動につながっている例を示して、興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。
- 自ら課題に働きかけ、自発的に学習する姿勢が育まれるよう工夫されている。
  - 〔例〕 第 2 学年以上のページの左側に「～したいな」という、児童の視点に立ったことばを入れることで、自ら学びたくなるよう配慮されている。また、単元末に設けられた「できるようになったこと」で学んだことを振り返り、それをもとに、続けて設けられた「まなびをいかそう」へと学習を深化・発展させていけるよう工夫されている。
- 合科的な扱いができる場面を取り入れるなど、他の教科との関連が図られている。
  - 〔例〕 2 年下P90「たし算とひき算」等、生活の振り返りや見直しを通して、道徳科との関連が配慮されている。また、2 年上P12～15、3 年上P84～93、4 年上P24～32 及びP140～142 等、表やグラフに関する内容では、扱う題材や資料で生活科や社会科、体育科との関連を図り、算数の有用性が理解されるよう配慮されている。単位量あたりの大きさの内容では、5 年上P54 で人口密度を扱い、社会科との関連が図られている。さらに、6 年P162「比例と反比例」では、重さに注目して紙の束の枚数を調べる課題を設定し、実験レポートを提示して、教材の考察についても関連を図れるよう工夫されている。
- 現代的な諸課題との関連に配慮されている。
  - 〔例〕 3 年上P107「道のりときより」、6 年P103「対称な図形」、4 年上P117「いろいろな国のわり算」、5 年上P61「単位量あたりの大きさと環境」、5 年下P117「将来なりたい職業」等、素材を安全・安心や防災、国際理解、環境、キャリアといった様々な事象について数学的な知識や技能を駆使して考察できるよう工夫されている。

## 2 使用上の便宜

- 判型を A B 版（横幅 21 cm）とし、十分に開きやすく、教科書上で作業する部分が広くなるなど書き込みがしやすいよう製本されている。また、第 2 学年以上の巻頭に折り込まれた「算数で見つきたい考え方モンスター」9 種を、見開きでいつでも見ながら学習できるよう工夫されている。
- 色ではなく記号や模様の違いで判断できるようにするなど色覚特性に配慮されている。
- 漢字の使用は国語科との関連を重視し、既習した漢字を扱うよう配慮されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	小学算数	17 教 出

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- 目的意識をもって数学的活動に取り組めるよう工夫されている。
 

〔例〕 2年上P22～23「たし算」、P38～39「ひき算」、3年上P118～119「玉入れ」、5年P184「山梨県の特産品のグラフ」等、身近な題材から算数の問題を見だし、事象を数理的に捉えようとする場面が設定され、興味・関心をもって新しい学習に取り組めるよう配慮されている。
- 児童の問いから、主体的・対話的な学びが展開できるよう工夫されている。
 

〔例〕 各学年のP2～5「算数をはじめよう！」で、児童の問い「はてな？」、話し合いを焦点化する「学びを深める問い??」、振り返りの「なるほど!」、「新たな問いだったら!？」へ繋げる進め方を巻頭に示し、それをアイコンとしてページに示すことで、主体的・対話的な学びを行い深い学びにつながるよう工夫されている。
- 具体物等を用いて、数学的に考えたり、表現したりする力が育成できるよう配慮されている。
 

〔例〕 2年上P24「たし算」、4年上P66「角」等考えの元や、計算式の表現を図などで関連づけ、結果を吟味することを児童の言葉で伝えあう活動を通して、多様な考え方へのつなげ方、広げ方、深め方を身に付けられるような工夫がされている。
- 発表・話し合いの場面では、図や式を用いて考えることで筋道を立てて考察することができるように、また話し合いの活動では、その筋道を論理的に説明することができるようにすることで、互いにコミュニケーションが図られるよう工夫されている。
 

〔例〕 2年上P24～25「たし算」、4年上P66「角」、5年P200「四角形や三角形の面積」等で児童の考え方を図や操作を使って説明する活動を示し、お互いの考えを話し合う活動で論理的に考えるような工夫がされている。
- プログラミング教育に即した教材が配置されている。
 

〔例〕 5年P228～229「正多角形の作図」でコンピュータに繰り返し作業を行わせたり、別の正多角形を作図させたりする体験ができ、プログラミング的思考を育成できるよう構成されている。
- ICTの特性を生かした学習ができるように工夫されている。
 

〔例〕 「まなびリンク」にアクセスすると3年上P124では、コンパスの使い方を動画で見ることができ、5年P199では、図形を分割したり、移動したりして図形の面積の求め方を考えることができ、4年上P49では、グラフを作成したり作り方を変えたりする操作をすることができる。
- 問題解決時の個人の見方・考え方を振り返る活動ができるよう配慮されている。
 

〔例〕 5年P200「四角形や三角形の面積」、6年P127「比例と反比例」等で問題解決の過程を吹き出しの言葉で振り返ることができるよう配慮されている。

〔例〕 3年P94～95「あまりのあるわり算」、2年P25「たし算」等で授業の終わりで吹き出しの言葉で発展的に考えさせて深い学びにつながるよう工夫されている。
- 既習事項との関連を図りながら学習内容を広げ、問題解決につなげる活動ができるよう工夫されている。
 

〔例〕 5年P294～295等のページに「算数のミカタ」のコラムを載せて、既習内容をほかの場面に活用したり、既習内容を発展させて新たな考え方を紹介する活動を通して発展的

に思考する力が育成されるよう工夫されている。

〔例〕 3年下P82、5年P167等、単元の最後のページの「ふくしゅう」では、その単元で学習したことを振り返ることができるよう配慮されており、次の単元と関連する既習事項も確認できるよう工夫されている。

- 身近な題材を取り上げて、算数の問題を発見し、身の回りの課題を解決できるよう工夫されている。

〔例〕 2年上P22～23では導入で、遠足のお菓子の買い物を取り上げることで、身の回りの課題を考えさせて、算数を学ぶことの意味を感じられるよう工夫されている。

- 既習事項を活用して日常の問題を解決していく力が養えるよう工夫されている。

〔例〕 3年下P93では、乗法の学習の活用問題として、階段1段分の高さや段数から校舎の高さを求める問題を扱い、算数を実生活に活用するよさが感じられるよう工夫され、また、他学年の2年P48、4年上P55、5年P181、6年P157等でも算数を実生活に活用させるよう工夫されている。

〔例〕 2年上P48では、減法の学習の活用問題として、値段の違う品物を購入する場合、どちらのお店で購入したら安く購入できるかという問題を扱い、算数を実生活で活用するよさが感じられるよう工夫されている。

〔例〕 2年下P98～99、3年下P110～113、4年P126～129、5年P250～253、6年P192～195等、学年末に活用問題として「算数を使って考えよう」が配置されている。その中で「情報の読み取り・関連づけ」「根拠の説明」「批判的考察」「表現の評価・改善」といった一連のストーリーを扱い、目的意識をもって解決していくことを通して、算数を活用する力が育つよう工夫されている。

- 自主的・自発的な学習習慣が身につくように配慮されている。

〔例〕 巻末に「自分で取り組むページ」が設けられ、家庭学習のヒントとして、答え合わせをしたり、授業を振り返ったりすることを促し、児童各自のペースに合わせて取り組むことができるよう配慮されている。

- 児童の興味・関心を高め、自ら考え、学ぶ態度を養えるよう配慮されている。

〔例〕 3年上P123、4年上P20で知識を広げる「脚注コラム」、2年上P51、2年下P54～55、3年上P104、6年P178～179で発展的な問題「算数ワールド」、4年下P152～153、5年P282、6年P247で「広がる算数」等、さまざまな視点から興味・関心を高め、問題解決の楽しさを味わい、さらに発展的な問題に挑戦できるよう工夫されている。

- 道徳科の指導との関連が考慮されている。

〔例〕 2年下P98～99(おてつだい)、6年P192～195(学級目標、なかよし集会)など、既習した内容を扱い、「家族愛、家庭の生活の充実」「よりよい学校生活、集団生活の充実」等の内容項目と関連するよう配慮されている。

- 他教科等との関連を図った学習活動が行えるよう配慮されている。

〔例〕 1年P22～23、P142～143、P176、P177～178、2年下P100～101では生活科や国語科、3年上P22～30「時こくと時間」では社会科の町探検の活動、4年上P44～51「折れ線グラフ」では理科の気温調べの活動等、児童が教科横断的に取り組めるよう工夫されている。

## 2 使用上の便宜

- 文字の大きさ、字間・行間及び字体は児童の発達の段階が考慮されている。
- 巻末には学習時に切り取って使える学習教材が用意されている。
- 識別しやすい配色が用いられ、カラーユニバーサルデザインの図版になっている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	わくわく 算数	6 1 啓林館

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- よりよく問題を解決し、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 めあてを全ての時間に例示し、児童の主体的な学びとなるよう、課題発見につながる児童の考えや気づきが「学びのめばえ」で取り上げられている。
  - 〔例〕 多様な考え方を充実させ、話し合いの場面を適宜設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、学習活動のモデルが巻頭の「わくわく算数学習」のページで示されている。
- 算数で学んだことを主体的に学習に活用しようとする態度が育つよう配慮されている。
  - 〔例〕 3年上P47「たし算とひき算の筆算」、6年P22～23「対称な図形」等、既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面で、児童が主体的に学習を進めていけるよう配慮されている。
- 数学的な思考力、判断力、表現力等を高め、数学的に考える資質・能力を育成できるよう配慮されている。
  - 〔例〕 3年上P2～9、5年P2～9等、巻頭の「教科書の使い方」「学習の進め方」「わくわく算数学習」「わくわく算数ノート」のページで、問題解決型の学習を通して、自分の考えを書いたり話したりして理解が深まっていくことを体得しながら、よりよく考える資質・能力を伸ばしていくことができるよう配慮されている。
  - 〔例〕 2年上P136～139、3年上P148～151、4年上P158～161、5年P280～285など、巻末の「算数資料集」のページで、わかりやすい説明の仕方や図の書き方、算数でよく使う考え方などが整理して掲載されており、児童が自分の考えをわかりやすく説明することができるよう配慮されている。
- 説明する活動を通して、数学的な思考力や表現力が育成できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 2年下P58～59「図をつかって考えよう（3）」、4年下P32～33「図を使って考えよう」、6年P124～125「表をつかって考えよう（1）」等で、思考の助けとなる図、表、式等を多く例示し、話し合いの場面では、根拠や手順などを説明する活動を通して数学的な思考力や表現力の育成が図られるよう配慮されている。
- プログラミングを体験しながら、論理的思考力が身に付くよう配慮されている。
  - 〔例〕 5年P236～237「わくわく算数ひろば」で、正多角形の辺にそって動かすプログラムをつくる例が示されており、プログラミング的思考が育めるような内容について、児童も教師も意識できるよう配慮されている。
  - 〔例〕 4年上P40～41「1けたでわるわり算の筆算」で、プログラミング的思考として、わり算の筆算の手順が強調され、最後に「おろすものがなくなると、おわり」という吹き出しが示されているなど、数学的な見方・考え方を働かせながら、プログラミング的思考の素地を培えるよう配慮されている。
- 学習を豊かにするためのICTの利活用に配慮されている。
  - 〔例〕 1年P10「かずとすうじ」、3年上P10「九九の表とかけ算」、6年P45「分数×分数」等、ICTの利活用が有効な場面では、紙面に二次元コードが掲載されており、ICT機器を使った学習になるよう配慮されている。
- 各時間の学習に「めあて」や「まとめ」が設定されており、児童が見通しをもったり、振り返ったりしながら主体的に学習が進められるよう工夫されている。

- 〔例〕 2年上P47「長さ」、4年下P17「面積」、6年P35「文字と式」等
- 学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする態度が育つよう配慮されている。
 

〔例〕 3年上P26「わり算」、5年P38～39「小数のかけ算」等、単元末の「ふりかえろう」のページで、単元全体を通しての感想を書く場が設定されており、算数のよさを感じ、進んで活用しようとする意欲や態度が育成できるよう配慮されている。
  - 単元導入は、日常の事象や既習事項から問題を見いだすような場面になっており、問題解決を通して理解が深まっていくよう構成されている。
  - 学習したことを生活に生かして、算数の有用性を実感できるよう工夫されている。
 

〔例〕 4年上P37「折れ線グラフ」、6年P111「立体の体積」等の「学びをいかそう やってみよう」のページで、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り上げられている。
  - 身近な題材、既習内容を取り上げて児童の興味を生かした内容とすることで、自発的な学習につながるよう工夫されている。
 

〔例〕 3年上P74～77「表とグラフ」では、すきな遊びのアンケート、5年P100「整数」では、ドッジボールの組み分け等児童の身近な題材を課題にすることで、児童の意欲が高まるよう工夫されている。
  - 児童の主体的な学びを支えるために、児童の関心・問題意識を高める工夫や児童が自ら考え調べる活動が設定されている。
 

〔例〕 2年上では、新しい知識・技能を習得し確実に定着できるようP29「練習」、P32「たしかめよう」、P128「もっと練習」等が設定され、一人一人の学びに応じることができるよう配慮されている。
  - 他教科等との関連に配慮がされている。
 

〔例〕 社会科との関連において、3年上P61「一万をこえる数」、4年上P54～56「一億をこえる数」で、都道府県の人口や世界の国々の人口が題材として取り扱われている。

〔例〕 理科との関連において、4年上P26～27「折れ線グラフ」で、一日の気温の変わり方が取り上げられており、理科での実験・観察に生かせるよう工夫されている。

〔例〕 「みらいへのつばさ」のページなどで、健康、環境保全、食育、国際協力、防災などの題材が取り上げられている。
  - 道徳科等との関連について、算数科の特質に応じた工夫がされている。
 

〔例〕 2年上P48「たし算とひき算のひっ算（1）」で空き缶拾いのボランティア活動を取り上げ、公共に寄与する態度が養えるよう配慮されている。

## 2 使用上の便宜

- 目次では、単元内容と、それに関連する前学年までの既習事項が示され、系統をふまえて学習内容が概観できるよう工夫されている。
- 巻末の切り取り教具には、場面に応じて、丈夫な厚紙や透ける薄紙、プラスチック素材などが使用されており、児童が活動しやすいよう工夫されている。
 

〔例〕 3年上「てんびん」、4年上「分度器」、6年「対称な図形」など
- 判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどのカラーユニバーサルデザインが採用されている。

種 目	教 科 書 の 名 称	発行者の番号・略称
算 数	小学算数	1 1 6 日 文

## 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

- 児童の関心・意欲が高められるよう、導入が工夫されている。
  - 〔例〕 2年上P64～65では、ビー玉を数える場面を設定し、活動の中で児童たちの気づきや疑問、興味や好奇心が生まれるよう工夫されている。
  - 〔例〕 6年P18では、身の回りにある隠れた算数を「整った形」という視点で見ることで、形の美しさや算数の面白さに気づけるよう工夫されている。
- 幅広い分野の事例がバランスよく取り上げられている。
  - 〔例〕 2年上P82では、足し算の筆算の練習問題で空き缶を拾うという場面の問題を掲載し、生活体験や生活科との関連が図られている。また、6年P135では、縮図と縮尺の学習をするために、明石海峡大橋の実際の長さを求める問題が掲載されている。
- 筋道を立てて考える力や、表現力を高めるための手だてがとられている。
  - 〔例〕 1年下巻、2年以降の上巻には、「算数ノートをつくろう」を設け、結果だけでなく考えた過程を言葉、図、式、数などを用いて説明できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 第2学年以上には「よみとろう あらわそう」のページを設け、図や式・言葉の関連、テープ図や数直線の読み方や書き方を系統的に整理できるよう工夫されている。
- 他者と協働して取り組む場面を例示し、考えを表現する活動の充実が図られている。
  - 〔例〕 1年下P77～79には、問題の学習場面における問題把握、自力解決、学び合い、振り返りという学習展開を例示し、考えを表現する活動の充実が図られている。
  - 〔例〕 5年上P43～45には、体積を求める工夫の学習場面を例示して、何に着目し、どのように考えていけばいいのかを例示することで、考えを表現する活動の充実が図られている。
- デジタル教材が活用できる内容に「WEB」マークを示すことで、効果的な学習が実現できるよう配慮されている。
  - 〔例〕 2年下「かけ算」の単元では、九九カードのスライドが用意されており、児童がゲーム感覚で九九を習熟できるよう工夫されている。
  - 〔例〕 4年下「直方体と立方体」の単元では、展開図のアニメーションが用意されている。見て、操作する活動を通して、図形を概念的に理解できるよう工夫されている。
- プログラミングを通して論理的思考を身に付けるための学習活動が取り上げられている。
  - 〔例〕 5年下P61～63では、コンパスなどを用いて作図する場面に続けて、プログラミング学習用ソフトのScratchを用いて正多角形を描くプログラムを考える場面が取り上げられている。また、P160～161では、Scratchの使い方が解説されており、進んで学習に取り組めるよう配慮されている。
- 基礎的・基本的な内容の定着が図れるよう工夫されている。
  - 〔例〕 単元末の「わかっているかな？」では、学力調査の結果をもとに精選した問題を掲載することで、つまづきやすい内容を重点的に振り返る機会が設けられている。
  - 〔例〕 「つなげる算数」のページを設定し、これまでに学習してきた複数の内容を関連づけて捉え直す機会が設けられている。3年下P60では、整数、分数、小数のたし算を通して「いくつ分で計算する」という観点での振り返りが図られている。
- 振り返りの観点が明示されている。
  - 〔例〕 第2学年以上の巻末には、「学び方ガイド」が添付されており、まとめる、振り返る、考えるという振り返りのための視点が示されている。

- 数学的活動の楽しさや、数学のよさに気づくよう配慮されている。
  - 〔例〕単元のあらゆる場面で、児童たちが教室の内外で取り組むことができる体験的な活動が取り入れられている。3年下「重さ」では、自作の天秤を使って重さの比較をする場面を設定しており、体験を通して量感を身に付けられるよう工夫されている。
  - 〔例〕1年上の口絵では、保育園や幼稚園のアルバム写真を掲載し、生活場面と算数とのつながりに気づくよう工夫されている。
- 算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が養えるよう配慮されている。
  - 〔例〕学習したことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや意義を実感できるような活動の参考となるページ「Hello! Math」が全学年に設定されている。
  - 〔例〕第2学年以上の下巻に「算数アドベンチャー」のページを設けることで、算数への興味・関心を高めたり、数学的なおもしろさを実感できたりするよう工夫されている。
- 学習を確かなものにしたり、広げたり深めたりする内容が扱われている。
  - 〔例〕第2学年以上の巻末に「算数マイトライ」が用意されている。「しっかりチェック」では、基礎的な知識及び技能の定着を目指した補充問題が用意され、「ぐっとチャレンジ」では、単元に対応した応用的・発展的な問題が用意され、「もっとチャレンジ」では、複数の単元を横断した応用的・発展的な問題が用意されている。
  - 〔例〕第3学年以上に、「なるほど算数」が用意されており、算数に関わりのある題材が掲載されている。3年上P90では、「昔の長さの単位」が掲載されており、我が国の文化、伝統に親しみ、それを大切にしたい気持ちがもてるよう配慮されている。
- 学習内容に関わる既習事項を整理することで、問題について考えられるよう工夫されている。
  - 〔例〕単元前には「次の学習のために」のページがあり、単元との関連や、児童の既習事項の定着度が確認できるよう工夫されている。6年P9では、「分数のかけ算とわり算」の単元が、どの学年のどの学習とつながっているのかが視覚的にわかるよう配慮されている。
  - 〔例〕解決の見通しや話し合いの着眼点をもつために、「カギマーク」や児童の吹き出しが示されている。1年下P47には、カギマークに「どのようなまとまりをつくるのかぞえやすいかかんがえよう。」と書いて、自主的・自発的に学習を促すよう工夫されている。
- 他教科と関連深い題材を取り上げ、幅広い知識が身につくよう配慮されている。
  - 〔例〕2年上P10～11では、1年生にプレゼントするメダルを数える課題が取り上げられていて、生活科との関連が図られている。また、4年上P40～42では一日の気温の変わり方をいい表す課題が取り上げられ、社会科、理科との関連が図られている。
  - 〔例〕第2学年以上の各巻の最終ページには、「さく引」を設け、国語科の辞書を使った学習との関連が図られている。
- 現代の課題を取り上げることで、自分自身との関連性に気づくよう工夫されている。
  - 〔例〕ESD(持続可能な社会づくりの担い手を育成する教育)や、SDGs(2016年から2030年までの国際目標)に関連する題材や話題を取り上げ、総合的な学習の時間への参考となるよう配慮されている。6年P182～183では、人口ピラミッドを取り上げ、グラフの読み取りとともに、日本の人口問題を考える機会が設けられている。

## 2 使用上の便宜

- 紙面情報が児童に正しく伝わるように、デザイン(カラーユニバーサルデザイン)や文章を改行する位置が工夫されている。
- 第5学年までは、児童の重量負担を軽減するために、2分冊構成となっている。第6学年では中学校とのつながりを考えて1冊構成になっている。
- 植物性インクを使用し、環境や人体への影響に配慮されている。